

おもちゃ屋さんからのアドバイス  
**絵本でもっと親子遊び**

**ドクスピール おもちゃコンサルタントのひらのみゆきさんに聞きました**

絵本は、遊びのツールの一つ。「読み聞かせをしなきゃ」と構えずに、まだ小さな赤ちゃんや、自分で絵本を読むようになった子のお母さんも、ぜひ親子一緒に、絵本で遊んでみませんか？

たとえば、新生児から楽しめる『あかちゃんたいそう』※1。「**キック、キック**」のところで足をトントンたたいてみたり、にぎにぎしてあげたり。一度遊び方を覚えれば、絵本がない外出先でぐずった時なども、同じように遊べてお母さんも助かります。

また、子どもは食べることが大好きなので、食べ物の絵本も持っておきたいですね。絵と名前が並んでいるだけのものより、お話があるほうがいいでしょう。今の季節なら、『すいかくんがね…』※2がおおすすめです。できれば小ぶりのスイカを用意して、**絵本と同じようにスイカ割りをして、果物ナイフで切ったりしてみてください**。ボールをスイカに見立てて遊ぶのもいいですよ。



※1『あかちゃんたいそう』  
 鈴木まもる 作  
 小峰書店



※2『すいかくんがね…』  
 とよたかずひこ  
 童心社

**質問募集中**

このコーナーでは、知りたいテーマの絵本や、選び方・読み方についての質問を募集しています。PI5のプレゼント応募と併せて、もしくは編集部メールアドレス(henshu@l-ma.jp)へお送りください。※メールの件名は「親子の絵本時間への質問」と明記。

ぴったりが  
 見つかる

親子の**絵本時間**



(※1)  
 かこさとし  
 ポプラ社

きっかけになると思います。夢をふくらませる絵本であれば、『ローラとつくるあなたのせかい』(※2)は、想像力豊かな女の子、ローラの頭の中をのぞいているような素敵な絵本。こんな授業があったら面白いのに！心の中にあるわたしの家はこんなふう！…など読むだけで

答えにくれたのは  
 絵本と図鑑の親子ライブラリー  
 ビブリオキッズ 司書の安藤さん



(※3)  
 マリー・ブレア/絵  
 ルース・クラウス/文  
 谷川俊太郎/訳  
 講談社

※品切れ、図書館でお探してください。

お答えす  
 します

将来なりたいたいものを考えるなら、『おきくなつたらなるか』(※1)が秀逸です。素晴らしいのは、単に「何になるか」だけではなく、「その仕事に就くために何が必要か」、職業に限らず「どんな大人になりたいか」にも触れている点。さまざまな角度から、自分の未来を思い描く



(※2)  
 ローラ・カーリン作  
 ひろまつゆきこ訳  
 BL出版

も楽しいですが、お子さんと一緒に想像してみてもいいですね。  
 妹さんも読めそうな、もう少しシンプルなものだったら、『わたしはとべる』(※3)。さまざまな生き物になりきって、のびのびと遊ぶ女の子が印象的な一冊。あなたは何にでもなれる、何でもできるのだというメッセージを届けてくれ、美しい絵や歌がたっぷりいるところも魅力です。

今月の  
 質問

最近、上の娘がママの将来の夢は？とよく聞いてきます。子どもの夢や可能性が広がるような絵本はありますか？

(5才2才女の子のママ)